**衝撃波シンポジウム講演論文集原稿書式の見本（12ポイント以上）**

○衝撃太郎，緩和花子（東北大流体研）

**Template Paper for the Symposium on Shock Waves, 2017 JAPAN**

**（12ポイント以上）**

SHOUGEKI, Taro and KANWA, Hanako

Institute of Fluid Science, Tohoku University, 2-1-1 Katahira, Aoba, Sendai 980-8577, Japan

Abstract

This file describes a guideline to prepare your manuscript for the Symposium on Shock Waves, 2017 JAPAN. The manuscript should be written using a word processor in the format specified in this template. Your final manuscript should be transformed to a pdf file and sent to the symposium office ([jssw2017a@grp.tohoku.ac.jp](mailto:jssw2017a@grp.tohoku.ac.jp)) by email no later than January 26, 2018. Any question regarding this template should be addressed to the symposium office.

Key Words : Shock Wave, Radiation, Boundary Layer, ... (no more than 5 terms)

**1．はじめに**

これは平成29年度衝撃波シンポジウム講演論文集原稿の見本です．平成25年度より講演論文集は印刷せずUSBメディアのみでの配布ですが，講演論文集はPDFファイルとなるため，従来と同様にA4判原稿として作成してください．シンポジウム参加者が研究内容を十分理解できるようなものとし，主要な研究成果は必ず記述してください．「結果は講演会場において発表する」などの表現は避けるようお願いします．

**2．原稿フォーマット**

2-1　題目，著者名など

題目，著者名（講演者名と順序を含む）は，申し込み時と同一のものとしてください．登壇者氏名の左側に〇印を付けてください．

2-2　原稿サイズと余白

講演原稿は，A4判（210mm×297mm）にワードプロセッサー等を使用して作成してください．左右各約23 mm，2段組中央約7 mm，上下約25 mmの余白をとってください．ただし1ページ目の上余白は約30 mmとします．

2-3　字の大きさ，字体

題目は12ポイント以上，本文は9～10ポイントとし，日本語字体は明朝体，英語字体はTimes またはTimes New Romanとしてください．

2-4　原稿の体裁

題目は長さと文節に応じて適切に改行し，中央寄せしてください．氏名は題目の下に中央寄せし，その右横に所属を括弧内に8字程度で略記してください．その下に英語題目をほぼ中央に書き，著者名，所属と住所を英文で書いてください．1行空けて，さらに英文で講演内容の要旨およびキーワード（5語以内）を書いてください．本文は2段組とします．原稿はカラーであって差し支えありません．

2-5　図・表

図・表はすべて英文表記とします．図・表には必ず番号とタイトルをつけてください．タイトルは，図の場合は下側，表の場合は上側です．図・表は，それを記述した本文の近くに置くか，あるいは末尾にまとめてください．図・表は解像度が高く明瞭なものを用いてください．

2-6　参考文献

本文や図中で文献を引用する際は，右肩上に小括弧を付して若い順に番号を記入し(1)，対応する番号で本文末尾に文献リストを作成してください．

2-7　規定ページ数

講演論文集がUSBメディアでの配布となるためページ数に制約はありません．ただしPDFファイルで20 Mバイトを越えないようにしてください．

2-8　その他

行間のオプション，段落間スペースの調整，図・表の位置調整等を行って，見栄えを整えていただけるようお願いします．

**3．原稿の提出**

原稿はPDFファイルに変換し，事務局宛（[jssw2017a@grp.tohoku.ac.jp](mailto:jssw2017a@grp.tohoku.ac.jp)）にメールで送付してください．ファイルサイズは20 Mバイトを越えないようにしてください．ファイルサイズが超過した場合はサイズの縮小をお願いする場合もあります．ファイル名は，講演申込時に事務局より送付された受付番号を用いて「受付番号.pdf」（例：001.pdf）としてください．

**4．その他**

不明な点，お困りの点がありましたら事務局までお問い合わせください．

**5．原稿の閉め切り**

平成30年1月26日（金）24:00必着．締切日を過ぎて提出された原稿は，講演論文集（USBメディア）へ掲載できない場合があります．ご了承ください．

**参考文献**

1. http://www.ifs.tohoku.ac.jp/~shockwave/jssw2017/, 平成29年度衝撃波シンポジウムウェブサイト
2. ...